

令和7年度 帯広市立帯広小学校 学校便り

帯小の窓

通いがい、通わせがいある学校、今日もおもしろかったな

～ 学校教育目標 ～

- よく考え、意欲的に学ぶ子
- 命を大切に、たくましくやりぬく子
- 豊かな心を持ち、協力し合う子
- 勤労の大切さを知り、すすんで働く子

NO. 25 令和7年11月6日 発行

校長 黒島 俊一

「泣いた赤おに」に涙する 読書週間に寄せて

明日11月7日に迫った**学習発表会**。その最中ではありますが、毎週月曜日と木曜日は**朝読書の時間**が設けられていて、少し落ち着いた雰囲気になりがちな行事前の時期等、始業前の一時、全校でじっくり落ち着いて本を読む習慣の継続はとてもいいことです。

加えて定期的に「読み聞かせボランティア」のみなさんが全学年に順に読み聞かせをしてくれています。また、児童会図書委員会の子供たちも1年生に読み聞かせをしてくれています。子供たちは耳と心を集中して、しっかりと聞き入っています。将来、何を読んでもらったかの記憶はなくなったとしても、読んでもらった記憶は残りますし、こうした時間はなにか心のつながりを感じるものです。

自身が幼少の頃、寝るときに親から本を読み聞かせしてもらったり、また自身の子供へ読み聞かせしてあげたりした記憶があります。年代にあった好きな本を読んでもらいながら寝る、という行為は子供にとっても大人にとっても、きっと幸せな時間なのかも知れません。

幼少期に読んでもらって、今も強烈に印象に残っているお話に、「**泣いた赤おに**」という話があります。みなさんもお存じのことでしょう。桃太郎や金太郎、一寸法師、花咲いさんなど、「むかし、むかし、あるところに…」から始まる遠い昔の物語ではなく、実は昭和10年に世の中に出てきた、比較的最近生まれたお話です。かいつまむと、



宇野 幸恵 氏の作品
(元のぞみ学級助手 現 東小)。帯広小OB職員で
華道のお師匠さんです。

人間と友達になりたいと思っていた赤おにが立て札を家の前に出しました。

「ココロノ ヤサシイ オニノウチデス。ドナタデモ オイデ クダサイ。オイシイ オカシガ ゴザイマス。オチャモワカシテ ゴザイマス」

ところが村人は立て札を怪しんで赤おにの家には入りません。だまして食うつもりじゃないかと話し合います。赤おにには怒りにまかせて立て札を壊してしまいます。そこへ友達の青おにが登場し、立て札を壊している赤おにに対して青おにには、「ふもとの村でひとと暴れる自分（青おに）を（赤おにが）退治する一芝居をうつ」提案します。作戦はみごとの中し、村人は赤おににはやさしい鬼だと思ふようになり、次々と赤おにの家を訪ねるようになりましたが、その日以来、青おにには赤おにの前に現れることはありませんでした。心配になった赤おにには青おにのうちを訪ねてみると、家の戸口に赤おにあての張り紙を見つけるのです。

「アカオニクン、ニンゲンタチトハ ドコマデモ ナカヨク マジメニ ツキアッテ タノシク クラシテイッテクダサイ。ボクハ シバラク キミニハ オメニ カカリマセン。コノママ キミト ツキアイヲ ツツケテイケバ ニンゲンハ キミヲ ウタガウ コトニ ナルカモシレマセン。…ソウ カンガエテ、ボクハ コレカラ タビニ デル コトニ シマシタ。…ケレドモ ボクハ イツデモ キミヲ ワスレマスマイ。…サヨウナラ、キミ、カラダヲ ダイジニシテ クダサイ。ドコマデモ キミノ トモダチ アオオニ」 (…部分 一部省略)

そして物語は、「赤おにには黙ってそれを読みました。二度も三度も読みました。戸に手をかけて顔を押しつけ、しくしくと涙を流して泣きました」と最後に記述されて終わります。

年を重ねても、何度読んでも、胸にズンとくるものがあり、泣けてきます。自ら悪役になる自己犠牲の無償の愛、美しい友情、これが本当の友情なののでしょうか。青おににはどうしてこんなことができたのでしょうか。ほかに方法がなかったのでしょうか。人間の友達を得る代わりに、大切な友達の青おにを失ってまで、赤おにには本当にこれで良かったのでしょうか。幸せなののでしょうか。子供の頃に出会った話も、改めて読み返してみると、いろいろなことに気づかされたり、考えさせられたりするものです。

さて、**学習発表会後の11月10日(月)からの1週間は本校の読書週間**になっています。朝の15分という短い時間ですが、みんなで本に親しみ、読書することに興味をもち、想像の世界を味わう心地よさ、読書を楽しむことがねらいです。落ち着いて本を読みながら、子供たちが自身の感性やよりよい思いを高めるような素敵な本との出会いに期待するのです。



学習発表会 どうぞお越し下さい
いよいよ明日。開場 8:45 開演 9:00

	発表内容	発表時間めやす	学年優先席
0	開会の言葉	9:00～ 9:05	
1	1年生 「みんなにここにこ 1年生♪」	9:05～ 9:20	前方4列
2	のぞみ学級 「にんじゅつがくえん ～めざせ一人前の忍者!～」	9:25～ 9:40	前方1列
3	2年生 「雨のち晴れ ～雨が降っても、いつかは晴れて元気になる!～」	9:45～10:00	前方5列
4	3年生 「ソラシドマーチ ～元気に進もう! 3年生～」	10:05～10:20	前方5列
5	4年生 「音楽で世界と時代を旅するコンサート」	10:35～10:50	前方3列
6	5年生 「未来へつながる万博 ～音と心でつくる わたしたちの未来～」	10:55～11:10	前方5列
7	6年生 「届けよう、ありがとうの心 ～気持ちを一つに 6年間の成長を～」	11:15～11:35	前方5列

- ・ 熱心な練習の成果を発揮するときです。子供たちの準備はOKです。保護者のみなさんもどうぞよろしくをお願いします。
- ・ お子さんをはじめ、帯広小学校の子どもたち167名の演じる様子を、最後までご覧下さい。**学年優先席**を設けております。運動会同様、お子さんの学年の発表の際は、最前列から順にお座りになられてご覧下さい。
- ・ **履き物をご持参下さい。**また、駐車場は、グラウンドの駐車場をご利用ください。
- ・ 客席も子供のステージとともに大切な舞台です。素敵な客席が、素敵な舞台の後押しになります。カメラ、ビデオカメラ、スマホ等での撮影でのご配慮、スマホの電源を切る、またはマナーモードにするなど、大切な発表の妨げにならないよう、互いにお気遣いいただくことのご理解とご協力をよろしくお願いします。

「全校落ち葉集め」の日以降も、無限に降ってくる落ち葉。登校時間まで毎朝学校玄関前で集めてくれている、6年生の本宮さん、柳田さん、清田さん、永井さんほか、たくさんの方の友達です。ありがとうございます。



～ ミシンサポーターで裁縫はばっちり! ～



本校では様々な学習サポーターのみなさんの協力をいただいて教育活動を進めておりますが、過日、5年生のランチョンマットづくりに、6年浅野さん、5年橘さんの協力をいただきました。ありがとうございます。コツをつかむまで、またトラブルの際の対応が難しいのですが、お陰をもって出来映えも良く、スムーズに学習が進められました。

この後も、スケート、版画、書道など「サポーター」のみなさんにお力をお借りする予定です。引き続きご協力をよろしくお願いします。

帯広小の 今日のきらきらさん

第11回まごころ塗装杯少年少女野球交流大会
 3位 帯広光南アトムズ
 5年右近 太朗さん 5年米田 翔馬さん(写真左)
 帯広小も光南小も別チームの時代から、帯広市の野球少年団の名門です。今後の活躍に期待しています。

北海道毎日学生音楽コンクール バイオリン部門
 一般コース 小学校3、4年生の部 銅賞
 3年 大塚 浩亮 さん(写真右)
 新聞にも掲載されました。全道表彰の快挙です。

